

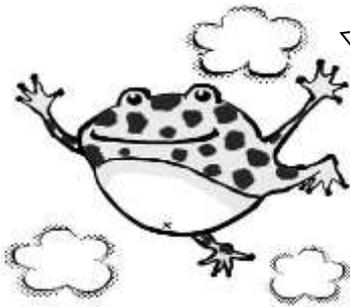
# かえる便り 30年度22号

平成30年11月12日

向寒の候、皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。

人と動物の違いはいろいろあるけれど、闘いもその違いの一つです。動物は本能のままに闘い、本能で実力を感じ勝負が決まります。人の場合はどうでしょうか？実力十分なのに負けることがあります。この相手には正攻法では勝てないから奇策を用いることで勝機を見出すこともあります。つまり、人の勝負は **心・思考** が重要な役割を果たします。一般的には弱者が勝利する可能性は低いのですが、奇策や先制パンチにより実力があるのに自信喪失や不安を感じ自滅することがあります。

実力が低い人（チーム）が上位にある人を倒すには、力をつけることは当然ですが、分析する力を高めることが必要なのです。自分達の力を分析して対策を立て、それを100%の努力で実行するから自分の殻が破れるのです。力のない者ほど、100%出し切ることが出来ない。必ず無理だとか、あの人と自分は違うと言いつつ、い訳をすることが多く継続性がありません。だから、本物の力がつかないのです。



漬物は一夜で作ることも出来るけれど、“人は一夜漬けではできません” 手間暇かけても、道を外れることがあります。また、受け止め方一つで方向を誤ることもあります。良い糠味噌にするには、日々の手入れが必要ですが、人も同じです。毎朝、今日すべきことは何かを明確にして、日々過ごすことが重要ではないでしょうか？

“好きこそ物の上手なれ” 自分の得意な事や好きな事に対して、人は集中して懸命に努力できます。自分を伸ばしたかったら、好きになる努力をすることが大切です。考え方や見方を変えることで、嫌いな事や苦手な事を克服することが出来ると思いませんか？人間と動物との違いの一つに、“より良くする”ように考えられることもあります。現時点では無理でも、自分を高めるために1年という時間をどのように過ごすかで結果が変わることもありますよ!!勿論、努力したら必ず良い結果が出るとは限りませんが、自分を伸ばすことはできます。